

病氣

回答・笠井 創先生

笠井耳鼻咽喉科クリニック(東京都目黒区)

中耳炎を早く見つけたいのは？

Q 2歳6か月の女の子。風邪のあと鼻水が出続けるので耳鼻科を受診したら「急性中耳炎のあとの滲出性中耳炎」といわれました。ただの風邪だと思っていたのに。中耳炎は気づかないの？ ●東京都 R・H

A 耳鼻科で定期検診を受けて、早期発見を

●中耳炎とはどんな病気ですか？

▼中耳炎には、急性中耳炎と滲出性中耳炎があります。急性中耳炎は、ほとんどの場合、風邪をひいたあとなどに、のどや鼻にいるウイルスや細菌が、耳管を通じて鼓膜の奥の中耳腔という部分に感染して起こり、中耳腔に化膿性の分泌液がたまりやす。滲出性中耳炎は、化膿性の分泌液が慢性的にたまった状態をいい、気づかないうちになる場合と、急性中耳炎をくり返すうちに滲出性中耳炎に移行する場合があります。どちらも乳幼児に多く、特に急性中耳炎は1歳までに15〜

50%、2歳までに20〜70%、3歳まででは50〜70%の子が、少なくとも1回はなるといわれています。6歳ぐらいになると自然に力加りにへくなつてきます。

●中耳炎は気づきにくいのですか？

▼滲出性中耳炎は、子どもが自覚症状を訴えることはまずありません。軽い難聴になるため、親が呼んでもほんやりしている、テレビの音を大きくしたがる、などの異変で周囲の人が気づくことが多いです。急性中耳炎は、耳が痛み、聴こえが悪くなったり、ジワジワした耳だれが出ることもあります。しかし相談のよう、